

Deliver Your Message:

Enhancing Presentation Skills with Videographics

Makoto Shishido

Mariko Takahashi

Kevin Murphy

photographs by

iStockphoto

DVD / Streaming Materials

- | | |
|---|---|
| Unit 1: ©Emmanuelle BAILLON / AFP VIDEOGRAPHICS / AFP | Unit 7: ©Emmanuelle BAILLON, David LORY / AUDIO NETWORK / AFP VIDEOGRAPHICS / AFP |
| Unit 2: ©Emmanuelle BAILLON / AFP VIDEOGRAPHICS / AFP | Unit 8: ©Emmanuelle BAILLON, Fred GARET / AFP VIDEOGRAPHICS / AFP |
| Unit 3: ©Emmanuelle BAILLON, Stephane KOGUC / AUDIO NETWORK / AFP VIDEOGRAPHICS / AFP | Unit 9: ©Emmanuelle BAILLON / AFP VIDEOGRAPHICS / AFP |
| Unit 4: ©Emmanuelle BAILLON, David LORY / AUDIO NETWORK / AFP VIDEOGRAPHICS / AFP | Unit 10: ©Emmanuelle BAILLON, Fred GARET / AFP VIDEOGRAPHICS / AFP |
| Unit 5: ©Emmanuelle BAILLON / AFP VIDEOGRAPHICS / AFP | Unit 11: ©Emmanuelle BAILLON / AFP VIDEOGRAPHICS / AFP |
| Unit 6: ©Emmanuelle BAILLON / afp tv / AFP VIDEOGRAPHICS / AFP | Unit 12: ©Emmanuelle BAILLON / AFP VIDEOGRAPHICS / AFP |

StreamLine

Web 動画・音声ファイルのストリーミング再生について

CD マーク及び Web 動画マークがある箇所は、PC、スマートフォン、タブレット端末において、無料でストリーミング再生することができます。下記 URL よりご利用ください。再生手順や動作環境などは本書巻末の「Web 動画のご案内」をご覧ください。

<https://st.seibido.co.jp>



音声ファイルのダウンロードについて

CD マークがある箇所は、ダウンロードすることも可能です。下記 URL の書籍詳細ページにあるダウンロードアイコンをクリックしてください。

<https://seibido.co.jp/ad715>



Deliver Your Message: Enhancing Presentation Skills with Videographics

Copyright © 2025 by Makoto Shishido, Mariko Takahashi, Kevin Murphy

*All rights reserved for Japan.
No part of this book may be reproduced in any form
without permission from Seibido Co., Ltd.*

はじめに

本書は、プレゼンテーションスキルを向上させたい学生のために作成された教科書です。プレゼンテーションに初めて取り組む学生にも、スキルを強化したい学生にも、この教科書は包括的なガイダンスと実践的な練習を提供しています。今日の世界では、強力なプレゼンテーションスキルが不可欠です。これらのスキルは、学業、キャリア、日常のコミュニケーションで成功するのに役立ちます。本書は、アイデアの計画と構築から、パワーポイントなどの視覚提示を利用して聴衆を引き込む方法、自信を持って話す方法まで、プレゼンテーションのすべての側面をカバーしています。

学生が興味を引くような、身近な社会の話題について、ビデオグラフィックスの映像を通じたリスニングやスピーキングの演習を利用し、基礎的な英語能力の向上をめざします。さらには、英語での発想力や基本的なプレゼンテーション構成能力を高め、発表するための英語表現力を養成することを主眼とした、中級者向けの教材です。

本書では、効果的なプレゼンテーションを行うための基礎を学ぶために、Pre-Unitを設けています。このPre-Unitでは、プレゼンテーションの目的設定、聴衆の理解、構成の作成、内容の整理、スライドデザイン、スピーチの準備、身振りや表情の活用、質疑応答の準備、リハーサル的重要性など、プレゼンテーションの成功に不可欠な要素について段階的に説明しています。これにより、学生はプレゼンテーションのスキルを体系的に習得し、実践に役立てることが出来ます。

本書の構成は下記のような特徴を持っています。

I. Warm-up: ビデオグラフィックスの映像を視聴する前に、基礎的な知識や語彙力を確認する演習を行います。

- 1. Opening Questions:** 各課の話題について学生の知識や興味を問うトップダウン形式の質問です。
- 2. Vocabulary Study:** ビデオグラフィックスで利用されている単語について、英語と日本語の意味を一致させる形式の練習問題です。
- 3. Vocabulary Practice:** ビデオグラフィックスで利用されている単語について、選択肢から適切な単語を選ぶ、空所補充形式の練習問題です。

II. Listening: 本書の中心となる各課の話題を紹介するビデオグラフィックスの映像を視聴し、リスニング能力を向上させるためのさまざまな演習に取り組みます。

- 1. Note Taking:** ビデオグラフィックスの映像を見て、要旨を簡潔にまとめる演習です。効果的なプレゼンテーションを行うためには話すことだけでなく、積極的に聞くことも重要です。本書には、他の人のプレゼンテーションの重要なポイントを理解し、記憶するために効率的にノートを取る方法も含まれています。
- 2. Comprehension Questions:** 映像で紹介されている内容についての理解を確認する、T/F形式の問題です。

III. Speaking: プレゼンテーションを行う前段階の発話能力の向上を目指した演習です。

1. **Speaking Practice:** 各課の話題についての賛成や反対の意見を述べる、会話形式のスピーキング演習です。
2. **Create a Dialog:** ペアワークで会話を考え、発話練習を行います。プレゼンテーションにはしばしば、質疑応答やディスカッションが含まれます。これらのやり取りに関して、自信を持ち、質問やコメントに効果的に対応できるように練習します。

IV. Presentation: プレゼンテーションを作成し、実践的な発表ができるように演習を行います。

1. **Research:** プレゼンテーションの話題について調べ、必要な情報、知識を獲得します。
2. **Brainstorming:** プレゼンテーションを作成する上で元となるアイデアを整理するためには、ブレインストーミングでさまざまな考えを書き出すことが重要です。
3. **Organizing:** 書き出したアイデアを整理し、論理的な構成に組み立てます。成功するプレゼンテーションには計画が重要です。また、これらのステップに従うことで、プレゼンテーションの内容を明確で論理的な流れにまとめることができます。
4. **Presenting:** 実際にプレゼンテーションを行います。

コラム (Presentationのヒント) : プレゼンテーション能力を向上させるためのコツや注意点などをわかりやすくまとめています。

巻末付録

1. プレゼンテーションの評価シート (Presentation Evaluation Rubric/Sheets)
2. 論理展開例・表現例
 - 2-1 **プレゼンテーションの論理展開例:** プレゼンテーションの本論を構成するためのいくつかの論理的な展開例を提供しています。年代順、問題解決、原因と結果など、さまざまなアプローチを取ることができる例やテンプレートを見ることができます。これらのパターンにより、プレゼンテーションが一貫して説得力のあるものになります。
 - 2-2 **論理展開別有用表現:** オープニングとクロージング: 聴衆に対して最初の印象と継続的な影響を与えるには、オープニングとクロージングの発言で決まります。聴衆の注意を引くためのさまざまなテクニックと、強力で記憶に残る結論を残すための方法を提案しています。

この教科書がプレゼンテーションスキルを向上させるための貴重なリソースとなることを願っています。提供された技術や戦略を実践し、応用することで、より自信を持ち、効果的なプレゼンターになることができるようになります。本書を利用して、プレゼンテーションを楽しんでください。

著者一同

本テキスト各ユニットの「II LISTENING」と「III SPEAKING」の「1 SPEAKING PRACTICE」で学習する動画と音声は、オンライン学習システム「EnglishCentral」で学習することができます。

EnglishCentralでは動画の視聴や単語のディクテーションのほか、動画のセリフを音読し録音すると、コンピュータが発音を判定します。PCのwebだけでなく、スマートフォン、タブレットではアプリでも学習できます。リスニング、スピーキング、語彙力向上のため、ぜひ活用してください。

EnglishCentralの利用にはアカウントとアクセスコードの登録が必要です。登録方法については下記ページにアクセスしてください。

(画像はすべてサンプルで、実際の教材とは異なります)

<https://www.seibido.co.jp/englishcentral/pdf/ectextregister.pdf>



見る

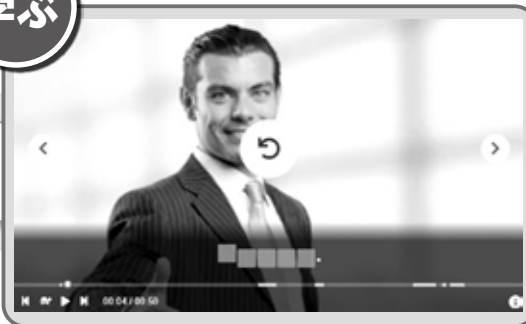


本文内でわからなかった単語は1クリックでその場で意味を確認

スロー再生

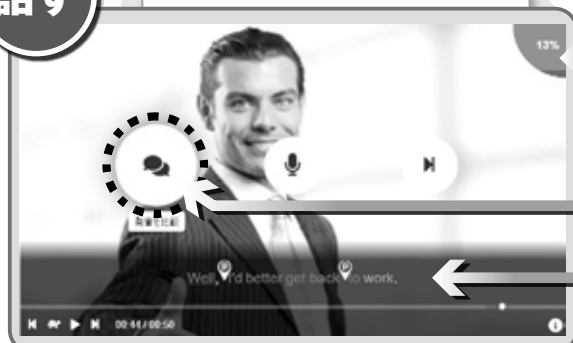
学ぶ

音声を聴いて空欄の単語をタイピング。ゲーム感覚で楽しく単語を覚える



話す

動画のセリフを音読し録音、コンピュータが発音を判定。



日本人向けに専門開発された音声認識によってスピーキング力を%で判定

ネイティブと自分が録音した発音を聞き比べ練習に生かすことができます

苦手な発音記号を的確に判断し、単語を緑、黄、赤の3色で表示

CONTENTS

はじめに 3

EnglishCentralのご案内 5

Pre-Unit プレゼンテーションの概要と準備 8



Unit 1

Facial Recognition: What's in a Face?

..... 17

顔認証技術の利便性と危険性



Unit 2

Daylight Saving Time

..... 25

サマータイムは省エネにつながる

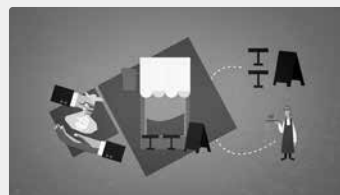


Unit 3

How Fashion Pollutes

..... 33

おしゃれはファッション公害を引き起こす



Unit 4

Interest Rates

..... 41

経済を活性化するために有効な金利政策とは？



Unit 5

Artificial Intelligence

..... 49

人工知能を有効に活用するために



Unit 6

World Heritage Sites

..... 57

文化の多様性を保護する世界遺産

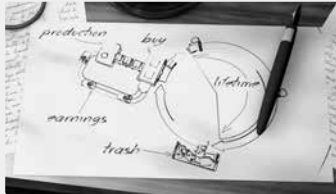


Unit 7

Microplastic Pollution

マイクロプラスチック汚染を防ぐには？

..... 65



Unit 8

Planned Obsolescence

計画的陳腐化政策の利点と問題点

..... 73



Unit 9

Autonomous Cars: Hands on the Wheel for Now...

自動運転自動車の現状と将来性

..... 81

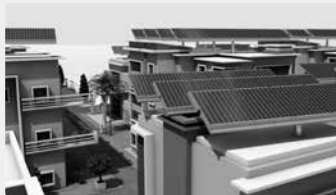


Unit 10

Filmmaking: From Idea to Screen

映画製作：アイディアから上映まで

..... 89

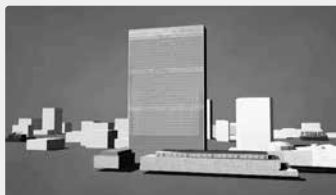


Unit 11

Carbon-Neutral Cities

二酸化炭素を排出しない都市は実現できるか？

..... 97



Unit 12

The United Nations

国際連合は何のため？

..... 105

Appendix プレゼンテーションの評価 (Presentation Evaluation Rubric/Sheets)114

プレゼンテーションの論理展開例 118

論理展開別有用表現 (Useful Expressions and Phrases)130

Web動画のご案内155

Pre-Unit ▶ プレゼンテーションの概要と準備

I プレゼンテーションとは

プレゼンテーションとは、あるテーマに関して、聴衆に対して情報やアイデアを伝えるために口頭発表を行うことです。主にビジネス、学術、教育、広報などさまざまな分野で行われます。プレゼンテーションは、コミュニケーションスキルの重要な側面であり、ビジネスや学術分野で成功するために必要なスキルの一つです。プレゼンテーションを成功させるために、以下の事柄を参考にしましょう。

Point 1 目的を明確にする

プレゼンテーションの目的をはっきりさせることが重要です。何を伝えたいのか、聴衆にどんなアクションを促したいのかを明確にし、準備を進めましょう。

Point 2 聴衆を理解する

聴衆のニーズや興味を理解することが成功の鍵です。誰が聴衆なのか、どのような背景を持っているのかを考慮して内容を選択します。

Point 3 プレゼンテーションの構成を決める

プレゼンテーションの骨子となる構成を考えます。典型的な構成は以下の通りです。

1. Introduction (プレゼンの目的や自己紹介)
↓
2. Body (重要なポイントやデータの提示)
↓
3. Conclusion (まとめや結論)
↓
4. Q&A (質疑応答：聴衆からの質問に対する対応)

Point 4 内容を整理する

主となる内容を適切な順序で整理します。論理的な流れを持たせることで、聴衆は理解しやすくなります。

Point 5 簡潔さ・明確さを重視する

スライドやスピーチの内容は簡潔で明確に表現します。長文は避け、キーポイントを強調しましょう。また、専門用語を避け、わかりやすい言葉で説明することも大切です。

Point 6 資料のデザインを考える

視覚的な要素も重要です。シンプルで分かりやすいスライドデザイン、適切なフォントや色の選択、画像やグラフの挿入などを検討します。

Point 7 スピーチの準備をする

スライドだけでなく、スピーチの内容やトーンも重要です。練習を重ねて、自信を持ってプレゼンテーションを行えるようにします。

Point 8 身振りや表情を活用する

言葉だけでなく、身振り、手振り(ジェスチャー)や表情を使って、説明を補完しましょう。

Point 9 質疑応答の準備

質疑応答に備えて、予想される質問や不確かな点についての答えを準備しておきます。

Point 10 リハーサルを行う

完成したプレゼンテーションを何度かリハーサルしましょう。時間配分、タイミング、表現を確認し、改善の余地があるかを見つけてみます。

Point 11 フィードバックを受ける

他の人にプレゼンテーションを見てもらい、フィードバックを受けることで、さらなる改善点を見つけることができます。

これらの方法を活用して、プレゼンテーションをより効果的で魅力的なものにすることができます。継続的な改善と練習を通じて、プレゼンテーションのスキルを向上させましょう。



II プレゼンテーションの準備

1 Brainstorming (ブレインストーミング)

ブレインストーミングは、創造的で多様なアイデアを生み出すための発想法です。ブレインストーミングを行う際は、以下を参考にしましょう。

Point 1 質より量を重視

最初の段階では、アイデアの数を重視し、できるだけ多くのアイデアを出すことに重点を置きましょう。後で整理や絞り込みを行うことができます。

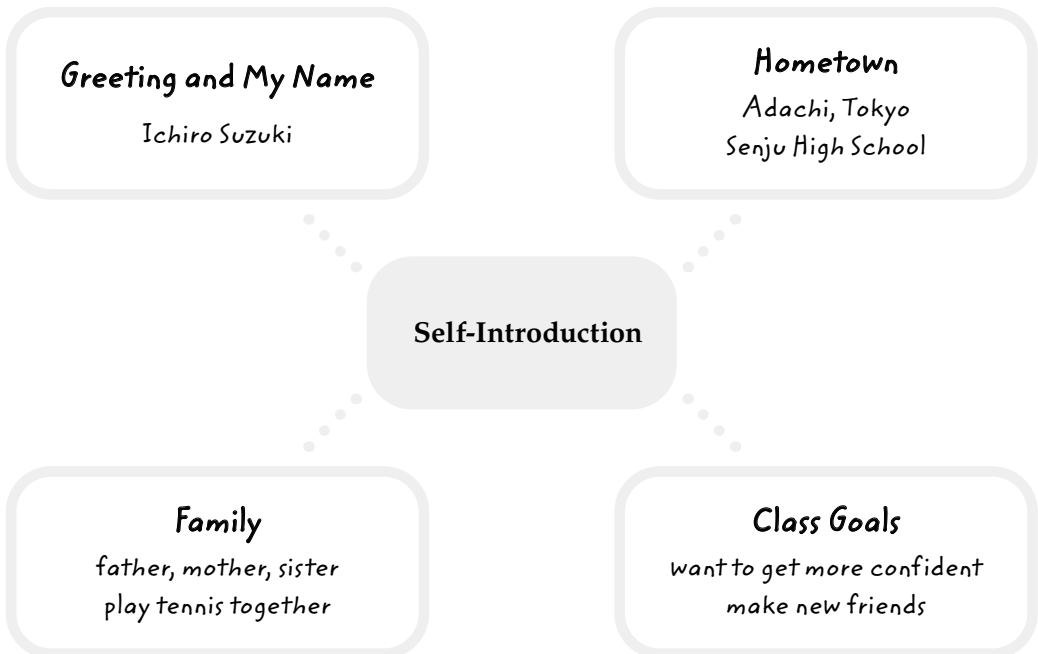
Point 2 アイディアの結合

さまざまなアイデアを組み合わせることで、新たなアイデアが生まれる場合があります。

Point 3 アイディアの整理と評価

ブレインストーミングの後に、集まったアイデアを整理し、優先順位をつけることで実現可能性や効果进行评估します。

「自己紹介」をするときのBrainstormingの例



2 Outline (アウトライン)

ブレインストーミングで整理した内容をプレゼンテーションに仕上げるため、アウトラインを作成することは非常に重要です。アウトラインはプレゼンテーションの構造を整理し、ロジカルな流れを確立するのに役立ちます。

.....

1 導入部の作成 (Introduction)

プレゼンテーションの最初に、自己紹介と話題の導入を行います。ここで聴衆の興味を引き、プレゼンテーション全体のテーマや目的を紹介します。

2 メインアイデアの列挙 (Body)

プレゼンテーションの中核となるメインアイデアを列挙します。これらのアイデアがプレゼンテーションの各セクションとなります。

3 論理的な順序の確立

メインアイデアを論理的な順序で配置します。情報がスムーズにつながり、聴衆が理解しやすい流れを作ります。時系列、問題と解決策、一般論から具体例へといった、さまざまな論理展開の順序を検討します。

4 具体的なサポート情報を用意

各メインアイデアをサポートするためのデータ、事例、引用などの具体的な情報を用意します。これにより、話を裏付けて説得力を高めることができます。

5 段落 (セクション) 間の移行を工夫

段落間の移り変わりをスムーズにするために、段落間の「つながり」を考えます。前の段落と次の段落を繋ぐ言葉やフレーズを使い、聴衆が理解しやすいように工夫します。

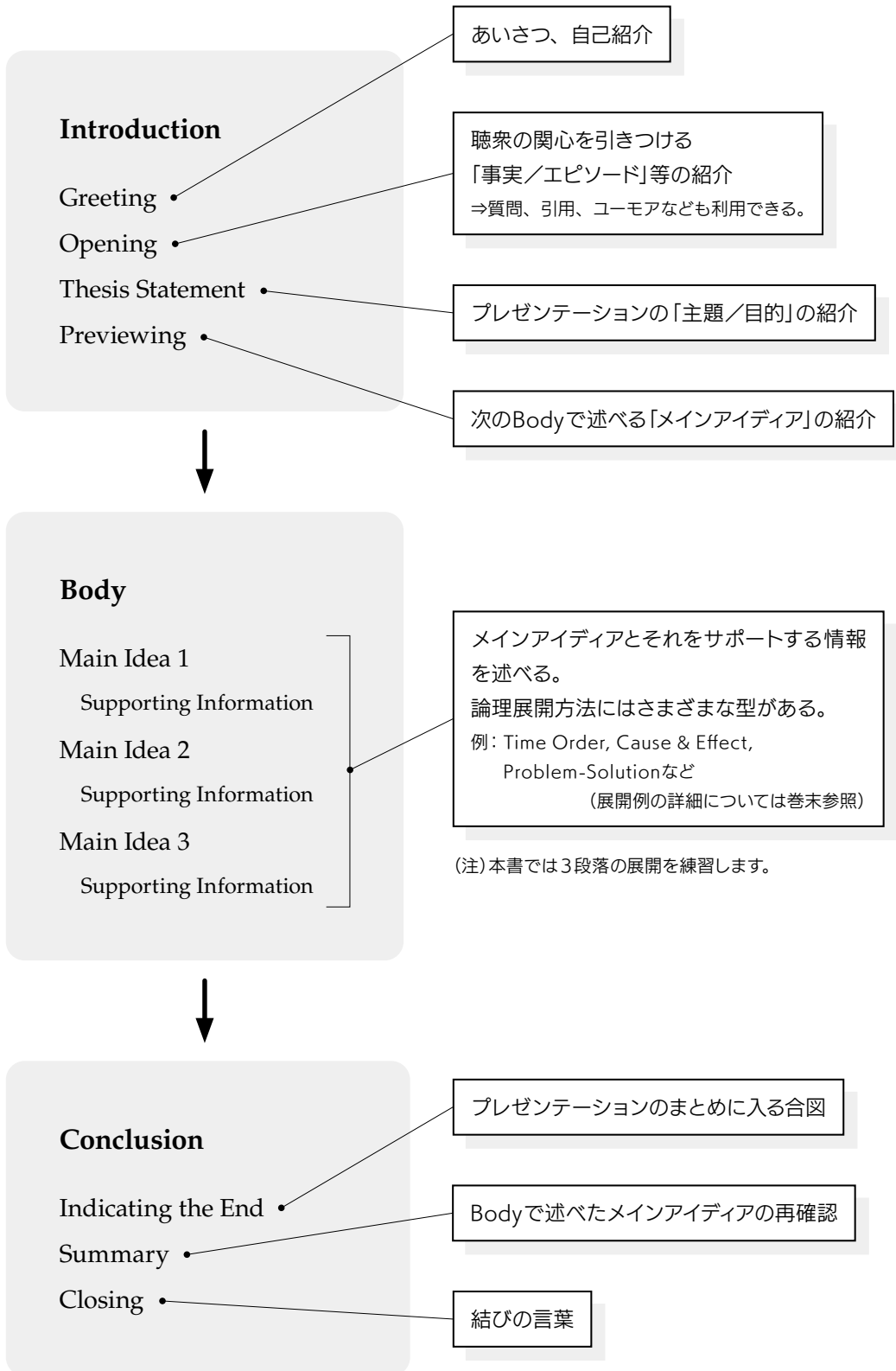
6 まとめ作成 (Conclusion)

プレゼンテーションの最後に、まとめや結論を述べるセクションを追加します。聴衆に残すべき印象を形成するために、要点を再強調します。

.....

アウトラインをしっかりと作成することでプレゼンテーションの準備がスムーズに進み、聴衆に効果的に情報を伝えることができます。

アウトラインの構成を考える



「自己紹介」をするときのOutlineの例

Outline

I. Introduction

1. Greeting: *Good morning* _____
2. Opening: *My name is Ichiro Suzuki.* _____
3. Thesis Statement: *Introduce myself* _____
4. Previewing: *my hometown, my family, and class goals* _____



II. Body

1. Main Idea 1

Hometown: Adachi, Tokyo
High School: Senju high school

2. Main Idea 2

Family: father, mother, sister
Hobby: play tennis with family on weekend

3. Main Idea 3

Class Goals: want to get more confident in speaking English
make new friends



III. Conclusion

1. Indicating the End: *Now you know better about me.* _____
2. Summary: *I hope to know you better too.* _____
3. Closing: *Thank you* _____

3 メモの作成

プレゼンテーションを行う際は原稿を朗読するのではなく、事前にメモを準備し、メモに書かれたキーワードから英文を考え、自分の言葉で伝えられるように努めることが大切です。

「自己紹介」をするときのメモの例

1

good morning
name: Ichiro Suzuki
introduce myself
hometown
family; father, mother, sister
class goals: confident, more friends

2

hometown
born and raised in Adachi
Senju high school

3

family
father
mother
sister
hobby: tennis

4

class goals
more confident in speaking
English
make new friends

5

know about me better
hope to know you
thanks

文をすべて書くのではなく、
キーワードなどを箇条書き
にする

各種表現例を利用する

本書には、巻末に論理展開の型ごとに、さまざまな英語の表現例を掲載していますので、英文を考える際に参照するとよいでしょう。これらの表現例を論理的、効果的に組み合わせることで、聴衆の印象に残るプレゼンテーションをすることができます。

「自己紹介」のプレゼンテーションの例



Good morning, everyone. I am delighted to have this opportunity to introduce myself. My name is Ichiro Suzuki, and I would like to share a bit about who I am, where I come from, and what I hope to achieve.

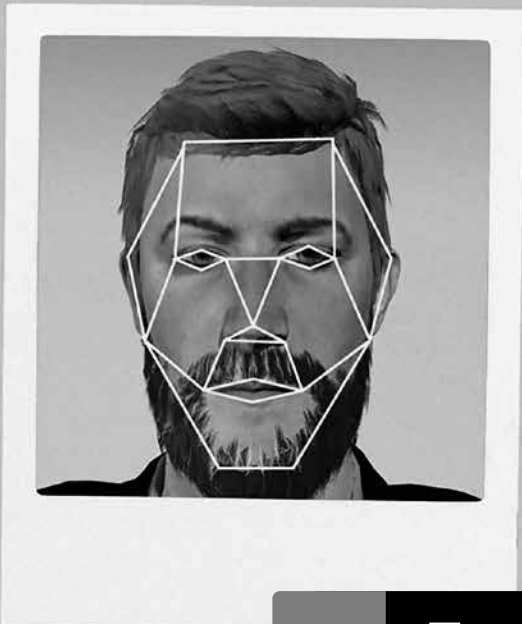
I was born and raised in Adachi, Tokyo. After completing my early education, I had the privilege of attending Senju High School.

I am fortunate to have a loving and supportive family consisting of my father, mother, and sister. Family is incredibly important to me, and we often engage in activities that strengthen our bonds. One of our favorite weekend activities is playing tennis together.

I have set myself some goals for personal and academic growth. In the realm of language, I am determined to become more confident in speaking English. Moreover, I am eager to make new friends during this journey.

In conclusion, I am excited to embrace the future with open arms. Through improving my English and building new friendships, I hope to make the most of this opportunity.

Thank you for your time and attention. I look forward to getting to know every one of you better.



Facial Recognition: What's in a Face?

Unit

1

スマートフォンの顔認証システムを利用していますか。このシステムは、ほかにはどのような場所で利用されているでしょうか。顔認証は便利だと思いますか。問題点は何でしょうか。顔認証システムがどのように使われているか、利便性、問題点などについて調べ、自らの意見を発表しましょう。

I WARM-UP

1 OPENING QUESTIONS

Answer the following questions in English.

1. When and where is facial recognition technology used?

2. Do you use this technology? Why or why not?

3. What do you think about this technology?

2 VOCABULARY STUDY

Match the word with its definition in Japanese.

- | | | |
|-----------------|-------|------------|
| 1. biometric | _____ | a. 特徴 |
| 2. authenticate | _____ | b. ありふれた |
| 3. trait | _____ | c. 瞳孔 |
| 4. pupil | _____ | d. 生物測定の |
| 5. mundane | _____ | e. 本物と証明する |

3 VOCABULARY PRACTICE

Fill in the blanks with the most appropriate word from the box below.

1. Can you provide any proof of _____?
2. The wind turbines are used to _____ electricity.
3. The Constitution protects the _____ of the people.
4. The device gives a greater _____ of safety.
5. It's interesting to _____ these two cars.

generate compare identity margin liberty

II LISTENING (Input Information)

1 NOTE TAKING

[Time 01:36]



03

Watch the video, listen to the recording, and fill in the blanks with the most appropriate words.

Facial Recognition

1. Definition

- Biometric technology to identify a(n) 1 _____
- From a 2 _____ or a facial image

2. Purposes

- To authenticate ³_____
- To check if people are who they ⁴_____ to be

3. Process

- Generation of a(n) ⁵_____ based on the face's unique ⁶_____
e.g., ears, pupils, ⁷_____, eyebrows,
⁸_____, skin grain,
x hair, ⁹_____
- Comparison of the face print with images in the ¹⁰_____
- Reducing errors: good ¹¹_____, correct ¹²_____

4. Uses

- Fighting ¹³_____
- Accessing bank accounts and ¹⁴_____ platforms

5. Concerns

- Threat to ¹⁵_____ and individual liberties

2 COMPREHENSION QUESTIONS

Write T if the statement is true and F if it is false.

1. Facial recognition is a biometric technology. _____
2. The image is compared to an existing image in a database. _____
3. Hair and clothes are taken into consideration. _____
4. The face doesn't have to be a well-lit, full face at a correct distance from the lens. _____
5. This technology could have a negative impact on privacy and individual liberties. _____

III SPEAKING (Exchange Ideas)

1 SPEAKING PRACTICE

EC CD 04, 05

There are diverse opinions about the private use of facial recognition technology. Listen to the two dialogs and practice them with your partner. Then think about your own views of facial recognition technology. Which opinion is closer to your own?

Facial Recognition Technology for Private Use

	DIALOG 1	DIALOG 2
Kei	Do you use facial recognition technology on your smartphone?	Do you use facial recognition technology on your smartphone?
Emi	Yes, I use it every time I turn it on. It's very convenient.	No, I don't use it. I think it is risky.
Kei	Do you have any problem using it?	Why do you think so?
Emi	No, not at all. Do you think there are some problems?	It would cause serious problems if my face ID was stolen.
Kei	Yes, if my face ID was stolen, it would be a big problem.	Yes, it is as important as a PIN.
Emi	I think it is safer and easier than remembering my PIN.	That's what I think, so I do not use it personally.

2 CREATE A DIALOG

Think about the public use of facial recognition technology based on your own opinions. Complete the following dialog and practice it with your partner.

Facial Recognition Technology for Public Use

You: Have you been to any event using facial recognition technology to check people at the entrance?

Your partner: (Yes / No) _____

You: (Where did you go..) _____

Your partner: _____

You: (What do you think...) _____

Your partner: _____

IV PRESENTATION (Output Your Ideas)

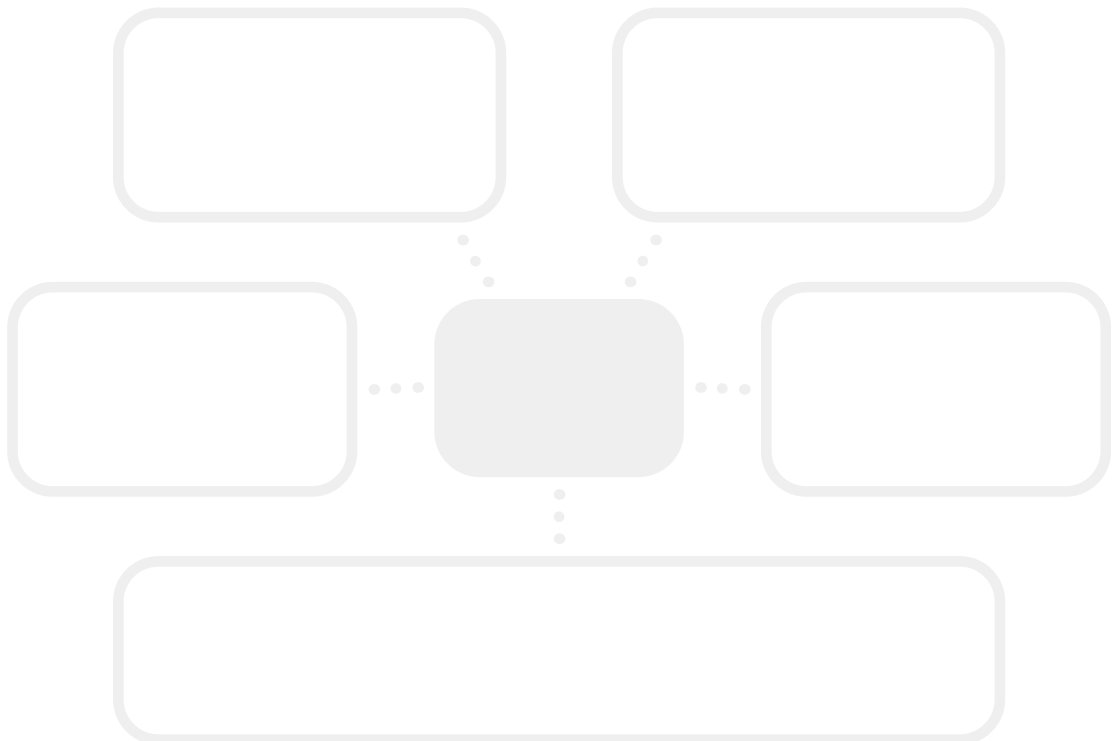
Argument Points The Convenience and Privacy Problems of Facial Recognition Technology

Process 1 **Research**

Search the Internet or use other means to find where facial recognition technologies are being used and think about your own opinions on the subject.

Process 2 **Brainstorming**

What are some of the advantages and disadvantages of facial recognition technology? In the following diagram, summarize the information you have researched. Add your own ideas as needed.



Process 3 Organizing

Summarize what you have researched and the ideas you have come up with in Process 1 and 2 and compose a presentation according to the following outline.

Outline

I. Introduction

1. Greeting

2. Opening

3. Thesis Statement

4. Previewing



II. Body

1. Main Idea 1

2. Main Idea 2

3. Main Idea 3



III. Conclusion

1. Indicating the End

2. Summary

3. Closing

Process 4 Presenting

Based on the outline you have created, present it to the entire class.

目的を明確にする

プレゼンテーションの目的を明確にし、伝えたいことを明確にします。明確な目的を持って話を進めることが重要です。

① 研究結果を報告する

研究課題を実施した結果を報告するために、プレゼンテーションを行う場合があります。この場合、目的は研究の結果を詳しく説明することです。

② 議論を促す

ディベートや論争に関するテーマについて話をする場合、目的は聴衆の議論を促すことです。この場合、明確に異なる立場を提示することが重要です。

③ 資料を説明する

プロジェクトや報告書の結果を説明するためにプレゼンテーションを行う場合、目的はその資料を詳しく説明することです。

④ スキルを紹介する

自分自身のスキルや経験を紹介するために、プレゼンテーションを行う場合があります。この場合、目的は自分自身のスキルや経験を聴衆に伝えることです。

⑤ 問題解決策を提供する

学生が特定の問題に関する解決策を提供するためにプレゼンテーションを行う場合があります。この場合、目的は聴衆に対してその問題の背景や解決策を明確に説明することです。